受理印(受付：　年　月　日)

課題番号：



九州シンクロトロン光研究センター

包括利用申込書

・記入漏れ等がある書類は修正をお願いいたしますのでご了承ください。

（**末尾のチェックリストを用いてご確認ください**）。

|  |  |
| --- | --- |
| 利用申込年月日 | 　　　　西暦　　　年　　月　　日 |

|  |
| --- |
| 業務課題名 |

|  |
| --- |
| 主任担当者 |
| （氏　　　名）　　　　　　　 |  | （ローマ字名） |  |
| （所属、職名） |  |
| （住　　　所） | 〒 |
| （連　絡　先）　　　　　　　　　　　　　　　 | TEL |  |
|  | E-mail |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験参加者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　　名 | 所　　　　属 | 職　名 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 測定手法及び測定時間・事前打合せの際確定した内容をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 使用ビームライン及び測定手法 | 1. BL：

[ ] BL07([ ] 光学ハッチ、 [ ] 第1実験ハッチ、 [ ] 第2実験ハッチ)[ ] BL09 [ ] BL10 ☐BL11 ☐BL12 ☐BL15 ☐BL18②実験手法：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※BL07のイメージングについては、以下より選択ください。[ ] マイクロCT（光学ハッチ、含クライオマイクロCT）[ ] 大視野吸収CT（実験ハッチ2）[ ] 大視野位相CT（実験ハッチ2）[ ] その他（利用相談で決めた手法） |
| 測定時間 |  |

 |

測定試料

・主任担当者の所属機関の安全基準を満たしていることが必要です。

・他の実験者および当センター職員の安全確保のため、または法令に準拠して当センターの判断で測定を制限することがあります。ご承知おきください。

・国際規制物質（核燃料等）および放射性物質を扱う測定、動物測定（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）、組換えＤＮＡ測定等は現在実施できません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | \*\*1試料名称 | \*\*2形態(外観) | \*\*3数・量・サイズ | \*\*4特性 | \*\*5対策 | \*\*6SDS添付 | \*\*7使用目的 | \*\*8リスクレベル |
| 物質名 | 化学式 |
| 1 |  |  |  |  |  |  | [ ]  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  | [ ]  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  | [ ]  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  | [ ]  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  | [ ]  | 持込試料欄の記入にあたっては、必ず下記の\*\*1～\*\*8の注意事項を確認して下さい。不備がある場合は審査の前に修正をお願いする場合があります。※申し込みの際に本枠部分を削除してください。 |  |

（注：以下の例に従って記入し、行数不足時は追加してください。）

\*\*1：**物質名**：物質名は試薬品名等（略号は用いない）。

**化学式**：元素記号で表記し、組成やドープ量の異なる試料は別々に記入して下さい。

（記入例）酸化チタン　TiO2、鉄　Fe　等。

但し、生物試料の場合、名称は以下の形式で記入して下さい。

1. 「由来する生物種名・部位名等」

由来する生物種名は、学名または標準和名。部位名等は、部位、組織、器官、物質名等。

（記入例）ウシ・骨、ミカン・葉、酵母S.cerevisiae・菌体、ミラクルフルーツ・Thaumatin、ウシ・胸腺DNA等。

1. 「由来する生物種名と産物名(発現生物種名)」

遺伝子組換産物等で由来する生物種と発現生物種が異なる場合、発現生物種名も記入して下さい。

（記入例）ヒト・リゾチーム(大腸菌発現)等。

③試料中に試薬（固定化剤、緩衝剤および添加物等）が含まれる場合、それらの物質名(化学式)も併せて記入して下さい。

（記入例）リン酸ナトリウム緩衝液(Na2PO4）、塩化セシウム(CsCl)を含む等。

\*\*2：形態は測定試料等の形状。外観は試料全体形状。

（記入例）薄膜(Siウエハ)、粉末(キャピラリ)、液体（密封ポリ袋）、植物体（シャーレ）等。

\*\*3：数・量は、試料の個数・一試料あたりの重量等。サイズはタテ×ヨコ×厚さ等。

（記入例）5枚・0.1g、10×10×0.5（単位mm）。

\*\*4：**特性はSDSで「2.危険有害性の要約」の項を確認のうえ、無害、爆発性、引火性、可燃性、自然発火性、禁水性、酸化性、急性毒性、腐食・刺激性、発がん性、特定有害性、高圧ガス、生物試料等を記入して下さい。**そのもののSDSがない場合は、類似物質や構成物質のSDSを確認しても構いませんが、“不明”と記入しても結構です（特性が不明の場合、安全対策が必要です）。なお、無害（有害）とは人に対する無害性（有害性）の意。但し、生物試料で人および動植物への感染・伝染性や感作がある場合、その旨も記入して下さい。

\*\*5：対策（無害以外）は、フィルムシートに密封（密封した状態で持ち込み、開封せずに測定し、そのまま持ち帰る）、保護メガネ・手袋・マスク等着用、試料搬送導入機で真空中搬送、窒素充填バッグ中で装置へ導入等。但し、生物試料で特性欄に「人および動植物への感染・伝染性や感作がある」旨の記入がある場合、滅菌・固定化または密封等、無害化の方法を記入して下さい。

（記入例）ホルマリンにて滅菌・固定、プラスチックに包埋等。

\*\*6：有害・無害に関わらずSDSを添付し、チェックして下さい。

\*\*7：使用目的は、測定、器具洗浄等。

\*\*8：当研究センターのホームページ(<http://www.saga-ls.jp/main/915.html>)を参照し、化学物質のリスクアセスメントを実施した結果を“リスクレベル/評価段階(例：1/4)”の形式で記入して下さい。ただし、下記場合は『対象外』と記入してください。

　　　・SDSで無害と確認できる場合

　　　・持込試料が密封（例えばキャピラリー、ポリ袋に密封等）されており、当研究センターで

開封することなく実験を実施し、そのまま持ち帰る場合

※**個人情報の取り扱いについて**：個人情報の適正な取り扱いの確保に関する規程（公益財団法人佐賀県産業振興機構個人情報保護規程）の趣旨に基づき、お預かりした個人情報は本申込に係る手続きにのみ使用し、他の目的には使用しません。

**●チェックリスト**

※本申込書提出の前に、下記項目についてチェックをお願いします。

|  |
| --- |
| 1　全ての測定試料が記載されていますか？ |[ ]
| 2　測定試料の有害性の有無をSDS等で確認されましたか？ |[ ]
| 3　全ての測定試料のSDSが添付されていますか？（自社合成物等除く） |[ ]
| 4　測定試料は記入例に従った記載になっていますか？  |[ ]